



よらいや
よらいや

公民館



♪大掃除 年に1度の 家ドック♪

話題がちょっと古いですが、年末に大掃除をしました。珍しいことではありませんが、今まで大切だと思って取っておいたものが、今となっては不要品となり、ゴミ扱いされるのがとても虚しく見えました。しかし、今年は思い切っているんなものを廃棄しました。最低でも年に1回は現在ある物を全部引っ張り出して、いるものと不要な物に仕分けする作業は、面倒ですが大切なことだと実感しました。

作業をしていると可燃物の廃棄量が半端ない量で、指定の袋に詰めると10袋以上になると気付きました。そこで、タイヤ用の巨大な袋に入れて、河原町の「リンピアいなば」まで捨てに行きました。ここならどんな袋でもよく、10kg 120円(可燃ゴミ袋大の2枚分)でした。大きい割に軽いゴミなら、リンピアいなばに持って行った方がお得です。(小さいのに重いというゴミは、指定袋に入れて出した方が安いかも)

大量のゴミを捨ててすっきりしたところで新年を迎えるというのは気持ちいいものだ、改めて感じました。まるで人間ドック⇒いや、家ドックです。



とくさんの畑日記

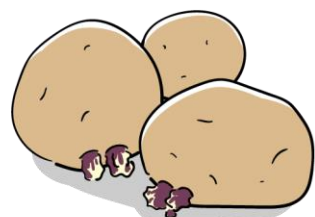


「春の野菜づくり講習会」・・・差が出ますよ！

回覧でご案内していますが、今年も「春の野菜作り講習会」を2月17日(月)に実施します。昨年は、いちごをハクビシンに食べられ、大根は虫にやられて散々でしたが、今度こそは豊作を願って、じゃがいもを中心とした春野菜作りに挑戦しようと思います。

実は、大根を虫にやられたという人は他にもたくさんおられ、『あれは仕方なかったのだ』と自分で自分を慰めていたのですが、気付かないところに「普段通りにできたけどな・・・」という方がいらっしゃいます。作り方の秘訣は、去年の野菜作り講習会で習ったことを、準備段階からやられたということでした。

「おかしいなあ、言われた通りにやったつもりなのだが・・・」と思いました。でもよく考えてみると、種蒔き、間引き、肥料などはきちんと習ったとおりにやりましたが、それ以前の土作りからはやっていませんでした。そう言えば、去年の会では虫や病気の防ぎ方を聞いたような・・・。とにかく今年は、講習会で事前の準備から聞き漏らさないようにしたいと思います。



現在は、芽が出てしば養ってきたジャガイモ 新ジャガが待ち遠しい！

シリーズ 知っていましたが、青谷のこと？ 「勝手に上寺朗を育てる会」が活動している！?

「勝手に上寺朗を育てる会」なるものが、上寺朗の幼少期の物語をペープサートにして、「上寺朗アナザーストーリー『僕たちの未来からようこそ』」を近隣の保育園・幼稚園・小学校・児童養護施設で上演されていますが、大人はほとんど知らないでしょう。

会の代表者の芳尾範子さんに、お話を伺いました。

◎上寺朗をテーマにしたきっかけは？

元々、先輩方が読み聞かせのボランティアをしておられたのですが、私達は動きを入れてはどうかということになり、ペープサートにしました。弥生時代の幼少期、腕白で遅しく成長していく男の子に育てようと思いました。

◎かみじちに対する思いは

歴史的背景も明らかにされつつあるので、その時代を学んでいきました。県立青谷かみじち史跡公園課長補佐の濱田竜彦氏に指導を受けながら想像を膨らませていきました。

◎ちょっとだけ内容を

上寺朗は日本人の祖父と渡来人の祖母の孫です(想像ですよ)。弟の誕生からお話は展開します。兄弟3人です。青谷の海、山の中で色々な経験をしていきます。下の写真は、兄弟と友達です。

◎伝えたいことは？

上寺朗の幼少期は豊かな自然の中で危険なことがいっぱいあったけれど、村の人達に助けられながら成長していきます。その生き様が続いて、今の私達があるということですね。

◎今後のストーリーは？

成長した上寺朗がどんな活動を拡げるのか、新しく仲間になった来渡君の登場に合わせ、活躍の場を展開していきたいと思います。

只今、研修中、構想中です。

◎練習を含めると、大変な作業ですね。

私達も弥生時代にタイムスリップできるような楽しみがあります。

※ありがとうございました。このように、勝手に青谷を応援するグループがたくさんできると、青谷が盛り上がりますね。

上寺朗アナザーストーリー
「僕たちの未来からようこそ」
キャスト



上寺朗 (主役) 青くん (弟) 海ちゃん (妹) 弥生ちゃん (となりの家)

おわりに

青谷高校3年生による「青谷学Ⅱの発表会」を見に行きました。青谷の困り事からスタートして、その解決で終わることができそうな、有意義な発表でした。「湧水調査」では、災害時に生活用水として使える湧水が僅かでもあると分かりました。「移住プロジェクト」や「青谷満喫プラン」では、地元住民では気付かないものを、高校生の視点で見つけていました。ウニの研究は、3年掛かりでやっかいもののウニから宝を探し出して感心しました。他にもいろいろあり、これらをまちづくりに生せないものかと感じました。